

資料 <使用した調査票>

資料 <使用した調査票>

1 一般高齢者調査

1 あなた自身について

問1 あなたの性別をお答えください。(ひとつだけ☑)

- 男性 女性 回答しない

問2 あなたの年齢をお答えください。(ひとつだけ☑)

- 65歳～69歳 75歳～79歳 85歳～89歳
 70歳～74歳 80歳～84歳 90歳以上

問3 あなたがお住まいの地区をお答えください。(ひとつだけ☑)

- | | | | |
|------------------------------|------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 旭南 | <input type="checkbox"/> 南原 | <input type="checkbox"/> 豊田 | <input type="checkbox"/> 花水 |
| <input type="checkbox"/> 旭北 | <input type="checkbox"/> 松が丘 | <input type="checkbox"/> 城島 | <input type="checkbox"/> 港 |
| <input type="checkbox"/> 四之宮 | <input type="checkbox"/> 田村 | <input type="checkbox"/> 岡崎 | <input type="checkbox"/> 富士見 |
| <input type="checkbox"/> 八幡 | <input type="checkbox"/> 横内 | <input type="checkbox"/> 金目 | <input type="checkbox"/> 崇善 |
| <input type="checkbox"/> 真土 | <input type="checkbox"/> 大神 | <input type="checkbox"/> 土沢 | <input type="checkbox"/> 松原 |
| <input type="checkbox"/> 中原 | <input type="checkbox"/> 金田 | <input type="checkbox"/> なでしこ | |

(お住まいの地区を確認される場合には、15・16ページの「平塚市地区一覧表」を御利用ください。)

2 生活状況について

問4 あなたはどなたと暮らしていますか。(あてはまるものすべてに☑)

- 一人暮らし 孫
 配偶者(夫・妻) 兄弟・姉妹
 子 その他()
 子の配偶者

問5 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(ひとつだけ☑)

- よい まあよい あまりよくない よくない

高齢者福祉に関するアンケート調査

市民の皆様には、日ごろから市政全般にわたり、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本市では、高齢者やそのご家族の方々が地域の中で安心して暮らし続けていくことができるよう「平塚市高齢者福祉計画(介護保険事業計画)」を定め、各種の取り組みを行っております。

今回のアンケート調査の結果は、令和9年度～令和11年度を計画期間とする次期計画の策定に向けた基礎資料として活用させていただきますので、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年10月

平塚市長 落合 克宏

ご記入に当たってのお願い

- 1 封筒の宛名の方ご本人についてご回答ください。
- 2 該当する選択肢にレ点チェック☑をつけてください。
- 3 「その他」を選択された場合は()内にその内容を具体的に記入してください。
- 4 アンケート用紙や返信用封筒には**住所や名前を記入しない**でください。個人の回答内容が特定されるようなことはありません。
- 5 病气や入所・転居等によって宛名の方ご本人が自分で答えるのが難しい場合は、ご家族がご本人の立場に立って代わりに記入してください。
- 6 ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手は**不要です**)に封入して、**令和7年10月30日(木)**までにご返送ください。

■ 調査の対象者について

令和7年9月現在、平塚市内にお住まいの要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方の中から2,000人の方を無作為に選ばせていただきました。

■ 調査に関するお問い合わせ先

平塚市役所 高齢福祉課 高齢福祉担当
 電話番号：0463-21-9622

問6 3年前と比べて、あなたに起きた変化としてあてはまるものをお答えください。
(あてはまるものすべてに☑)

- 気分が落ち込むことが多くなった
- 体力や筋力が落ちた
- ケガや病気のため、受診が増えた
- 薬の量や種類が増えた
- 友人・知人が少なくなった
- その他 ()
- 変化はない

3 日常生活について

問7 生活の中でどのようなことに生きがいを感じていますか。(あてはまるものすべてに☑)

- 家族との日常生活
- 友人・知人との交流
- 就労
- 地域活動への参加
- 趣味やスポーツ活動
- 学習やスキルアップ
- 飲食
- テレビの視聴
- インターネット・SNSの利用
- ゲームやパズルなどの娯楽
- その他 ()
- 特になし

問8 あなたは買い物、通院などの生活に必要な外出をどれくらいしていますか。
(ひとつだけ☑)

- 週に5～7日 (ほぼ毎日) 程度
- 週に3～4日 程度
- 週に1～2日 程度
- 月に2～3回 程度
- 月に1回 程度
- 必要がないため外出しない
- 外出できない
(理由:)

問8-1 問8で週に5～7日(ほぼ毎日)程度、週に3～4日程度、週に1～2日程度、月に2～3回程度、月に1回程度に☑をつけた方うかがいます。

- 外出のときの方法は、どのようなものですか。(あてはまるものすべてに☑)
- 徒歩
 - 自転車
 - バス、タクシー、電車を利用する
 - 自分でバイクや車を運転する
 - 家族や友人などに車を運転してもらう
 - 病院などが運行する送迎バスなど
 - その他 ()

【すべての方におたずねします。】

問9 買物について、利用しているサービスはありますか。(あてはまるものすべてに☑)

- インターネットによる宅配サービス
- 電話注文等の宅配サービス (インターネット以外)
- 店舗で購入した商品の配送サービス
- その他 ()
- 利用しているサービスはない

問10 あなたが普段の生活の中で、手助けしてほしいことはありますか。
(あてはまるものすべてに☑)

- ごみ出し・買い物・調理・洗濯・掃除などの家事
- 庭の手入れ (草刈り・剪定など)
- 簡単な力仕事
- 通院やその他の外出時の送迎や付き添い
- 声かけ・見守り・話し相手
- 行政手続き等の代行
- 家電器具やパソコン等の操作
- 金銭管理
- その他 ()
- 特になし

問11 日常生活でスマートフォンを利用していますか。(ひとつだけ☑)

- 毎日利用している
- 時々利用している
- 持っていないがほとんど利用していない
- 持っていない

問11-1 問11で「毎日利用している」または「時々利用している」に☑をつけた方うかがいます。

主にどのようなことに利用していますか。(主なもの3つまで☑)

- 通話・メール等連絡手段
- インターネット検索
- ネット通販
- 買い物時のキャッシュレス決済
- 動画の視聴
- LINE (ライン) などのSNS (ソーシャル・ネットワーク・サービス) (※)
- 地図や位置検索
- その他 ()

※SNS: オンライン上で人間関係を構築できる交流サイト。

【すべての方におたずねします。】
4 長寿社会の課題について

問12 長寿社会のなか、ご自身の身の回りでどのようなことに不安を感じますか。
(あてはまるものすべてに☑)

- 自分や家族の健康に関すること
- 趣味や生きがいがいないこと
- 認知症を含め自分や家族の介護が必要になること
- 収入が少ないなど経済的なこと
- リフォーム・住み替えなど住まいに関すること
- 買い物や通院など外出時の移動手段に関すること
- 支えてくれる人(家族等)がいないこと
- 犯罪被害や災害時の備えに関すること
- 友人や地域との交流がないこと
- その他()
- 財産の管理や相続に関すること
- 特にない

問13 長寿社会において、今後、市が重点的に取り組んだ方がよいと考えるものはどのようなことですか。(主なもの3つまで☑)

- 介護予防や健康増進のための支援
- 地域共生社会の実現・地域ネットワークの強化・交流の場づくり
- 生涯学習の機会提供
- 終活(※)に関する相談支援
- 家族介護者への支援を含む在宅医療・介護サービスの充実
- 介護サービス以外の生活支援サービスの充実
- 認知症に対する理解促進、認知症高齢者の社会参加の促進
- 孤立・孤独防止対策、見守り活動の推進
- 移動支援
- 防犯・防災対策の強化
- 特別養護老人ホームなど介護保険施設の整備
- その他()

※終活：人生の最期に向けて行う事前準備等の活動のこと。

5

5 介護予防について

問14 あなたは普段、介護予防にどのくらい取り組んでいますか。(ひとつだけ☑)

- 毎日、積極的に取り組んでいる
- ほとんど取り組んでいない、取り組んでいない
- 週に数回、取り組んでいる
- 月に数回、取り組んでいる

問14-1 問14で「毎日、積極的に取り組んでいる」「週に数回、取り組んでいる」「月に数回、取り組んでいる」に☑をつけた方に向かってください。
あなたは普段、介護予防としてどのようなことに取り組んでいますか。
(あてはまるものすべてに☑)

- 栄養状態の低下を防ぐための食事の気をつけている
- オーラルフレイルやお口の健康を保つために取り組んでいる
- ウォーキングや体操など、定期的に運動をしている
- 規則的な生活を心がけている(夜更かしをしないなど)
- パズルや計算作業など、認知症の予防に取り組んでいる
- 気持ちをできる限り明るく保つようしている
- 休養や睡眠を十分にとっている
- その他()

6

問19 あなたは、地域活動に参加していますか。(ひとつだけ)

- 参加している
 現在していないが、今後参加したい
 あまり参加していない
 参加したいとは思わない

問19-1 問19で参加している「または現在していないが、今後参加したい」に☑をつけ
 方にうかがいます。

参加している、または参加したいと思う活動内容はどのようなものですか。
 (あてはまるものすべてに☑)

- 自然保護・近隣の清掃や美化・リサイクルなどの活動
 地域（学校、施設、商店街、自治会など）イベントの支援
 福祉施設などでの活動
 趣味やスポーツの指導
 交通安全や防犯・防災に関する活動
 高齢の方、障がいのある方の話し相手や身の周りの世話
 子育て相談や手伝い、青少年の健全育成に関する活動
 老人クラブの活動
 外国人への支援活動
 寄付、募金活動
 その他（ ）

【すべての方におたずねします。】

問20 あなたはお住まいの地域で、人の手助けや活動(ボランティアを含む)をしたいと思
 いますか。(ひとつだけ)

- すでにしている
 ぜひしたい
 できればしたい
 あまりしたいとは思わない
 したいとは思わない
 わからない

8 認知症について

問21 あなたは、軽度認知障がい(MCI: 認知症ではないが、年齢相応より認知機能が低下し
 た状態)という言葉を知っていますか。(ひとつだけ)

- はい
 いいえ

問22 認知症に関する平塚市の取り組みについて知っているものをお選びください。
 (あてはまるものすべてに☑)

- 認知症サポーター養成講座
 認知症予防教室
 コグニサイズ教室
 脳とからだの体操の普及人材育成講座（コグニサイズサポーター養成講座）
 タブレットを利用した簡易認知機能検査
 認知症初期集中支援事業
 認知症カフェ
 事前登録による関係機関への搜索協力の仕組み
 GPS機器（位置を特定できる端末）の貸与
 認知症疾患医療センター・認知症サポーター
 認知症の人に特化したダイヤサービス（認知症対応型通所介護等）
 チームオレンジ
 知っているものはない

問23 あなたや家族が認知症かもしれない気になった時に誰に相談しますか。または、誰に
 相談しましたか。(あてはまるものすべてに☑)

- 家族・親族
 友人・知人
 医師、医療機関
 高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）
 民生委員
 市役所
 ケアマネジャー
 相談しないで様子をみる
 その他（ ）
 相談する相手がいない

問24 あなたは認知症に対する意識として、あてはまるものをお答えください。
 (あてはまるものすべてに☑)

- 認知症になっても自分らしく暮らしていきたい
 認知症になる時に備えて準備したい
 認知症の原因や症状などのことをよく知りたい
 認知症予防（生活習慣病予防等）に積極的に取り組みたい
 認知症についてよくわからない
 認知症の人にどのようなように接したらよいかかわからない
 自分や家族が認知症になることが不安
 家族に負担をかけることが心配
 その他（ ）

問25 認知症予防(認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を穏やかにする)に効果があると考えられるものの中で、ご自身で取り組んでいきたい(現在取り組んでいるものを含む)ことについてお答えください。(あてはまるものすべてに☑)

- 生活習慣病(肥満、やせ、高血圧、糖尿病、高脂血症等)を予防・改善する
- バランスよく食べる
- 地域活動等に参加して人と交流する
- ウォーキングなど習慣的に体を動かす
- 昼寝は30分程度にする
- 歯磨きや入れ歯の手入れをして口腔ケアをする
- 禁煙する
- 転倒防止の工夫(転びにくい服選びや家の段差の解消等)
- ながら運動(例:歩きながらしりとりをする等)
- その他()
- 特にない

問26 あなたや家族が認知症かもしれないと気づいている時や認知症と診断された時に、どのような支援策があったらよいと思いますか。(あてはまるものすべてに☑)

- 診断を受ける前に受けられる簡易認知機能検査の機会の充実
- できるだけ早い段階から医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり
- 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実
- 認知症本人の話を聞く機会をつくる
- 認知症本人たち同士が集まる機会をつくる
- 家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み
- 認知症の人や家族を地域で見守る体制の充実
- 認知症であっても、地域や社会に関わっていただける場づくり
- 専門の介護サービスの充実
- 日常生活の中で必要となる財産管理などの支援の充実
- その他()
- わからない

9 見守りのしくみについて

問27 成年後見制度(※)を知っていますか。(ひとつだけ☑)

- 内容をよく知っている 言葉は知っているが内容は知らない
 - だいたいの内容は知っている まったく知らない
- ※成年後見制度：自分の判断能力が低下したときに備えて、「支援してほしいこと」と「支援をお願いする人」をあらかじめ「契約」で決めておく制度。

問28 避難行動要支援者登録制度(※)を知っていますか。(ひとつだけ☑)

- 内容をよく知っている 言葉は知っているが内容は知らない
- だいたいの内容は知っている まったく知らない

※避難行動要支援者登録制度：災害時に一人で避難することが困難で、支援が必要な方(避難行動要支援者)が自身の情報を事前に市に登録し、市がその情報を自治会・民生委員児童委員等に提供することと、災害時に地域において、避難行動要支援者が安否確認や避難誘導などの必要な支援を受けられるようにする制度。

10 終活について

問29 あなたは「終活」(※)として取り組んでいること、又は取り組む予定のものはありますか。(あてはまるものすべてに☑)

- 家の片づけ 死後事務委任契約の締結
- お墓の整理 エンディングノートの作成
- 介護や医療に関する検討 ご家族や近い人と話し合い
- 葬儀の仕方の検討 その他()
- 相続など資産関係の整理 わからない
- 任意後見制度の活用の検討 取り組んでいない、取り組む予定はない

※終活：人生の最期に向けて行う事前準備等の活動のこと。

問30 あなたは人生の最期を迎える場所として、どこを希望していますか。(ひとつだけ☑)

- 自宅 その他()
- 病院 わからない
- 介護施設

11 介護・医療について

問31 あなたにはかかりつけの医師、歯科医師、薬剤師はいますか。(あてはまるものすべてに
図)

- かかりつけ医師がいる かかりつけ薬剤師がいる
- かかりつけ歯科医師がいる いずれもない

問32 あなたは将来、介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいですか。(ひとつだけ図)

- 自宅
- 特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの施設
- 見守りや食事提供などのサービスがある高齢者向け住宅
- その他 ()
- わからない

問33 あなたは、ご自身の今後の介護や医療の希望、最期を迎える場所を伝えたり、話しあっ
ている人はいますか。(あてはまるものすべてに図)

- 家族・親族 ケアマネジャー等の福祉・介護の専門家
- 友人・知人 その他 ()
- 近所の人 特に伝えたり、話したりしていない
- 医師等の医療の専門家

問34 介護や療養が必要になっても、あなたが在宅で暮らし続けるために、必要だと思うこと
をお答えください。(あてはまるものすべてに図)

- 住み続けられる住まいがある
- 家族が同居または近くににいる
- 見守ってくれる友人・知人が近くにいる
- 介護をする家族や親族への支援がある
- 普段から利用できる介護サービスがある
- 身近に利用できる医療機関がある
- 自宅に医師や看護師等が訪問して診療やケアをしてくれる
- 緊急時や救急時に入院先が確保されている
- いつでも利用 (入所) できる施設が近くにある
- 経済的な支援がある
- その他 ()
- わからない

問35 あなたの家族が在宅で介護をすることになった場合に、家族に対する支援等が必要だ
と思うことをお答えください。(主なもの3つまで図)

- 介護方法の情報提供
- 介護に対する地域の理解
- 介護に対する職場の理解
- 介護に対する他の家族や親族の理解
- 介護と医療の円滑な連携
- 経済的負担軽減への支援
- 介護サービス (ショートステイ等) 利用による、身体的負担軽減への支援
- 個別の悩みごとを相談できる場所など、精神的負担軽減への支援
- 介護者の休息や介護から一時的に離れることへの理解
- その他 ()
- 特にない

問36 あなたは、介護保険料についてどのように感じていますか。(ひとつだけ図)

- 特に負担と感じていない
- 負担であるが、支払うことは可能
- 負担であり、支払うことが困難
- わからない

12 高齢者施策全般について

問37 平塚市の介護保険制度・高齢者福祉施策に対して、ご意見やご要望がございましたら、
ご自由にお書きください。

質問は以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。
調査票を同封の返信用封筒に入れて、
10月30日(木)までに返送(投函、切手不要)してください。

平塚市地区一覧表

※アンケート調査のために作成した地区一覧表です。お住まいの地区を確認する際にご利用ください。

町名	町名(カナ)	地区	町名	町名(カナ)	地区
あ	石町	22 崇善	代官町	トイカチヨ	20 港
	天沼	23 松原	高根1~3丁目	タカネ	1 旭南
	飯島	12 金田	高浜台	タカハマ	20 港
	出嶋	1 旭南	高村	タカムラ	1 旭南
	入野	12 金田	宝町	タカラ	22 崇善
	入部	12 金田	立野町	タタノ	22 崇善
	榎木町	23 松原	田村1~9丁目	タタノ	9 田村
	老松町	23 松原	達上ヶ丘	タダノ	21 富士見
	追分	22 崇善	土屋	ツチヤ	17 土沢
	大畑1丁目~9丁目	11 大畑	堤町	ツツミ	2 松原
	大島	14 城島	寺田瀬	ツツミ	12 金田
	大原	8 松が丘	唐ヶ原	トカラハラ	18 までしこ
	岡崎	15 岡崎	徳延1~3丁目	トクリノ	2 旭北
か	片岡	16 金目	豊田打間木	トヨダチマキ	13 豊田
	上吉沢	17 土沢	豊田小瀬	トヨダコノセ	13 豊田
	上平塚	21 富士見	豊田平等寺	トヨダトウダウジ	13 豊田
	北金目1~4丁目	16 金目	豊田本郷	トヨダホノコウ	13 豊田
	北金目	16 金目	豊田宮下	トヨダミヤノシタ	13 豊田
	北豊田	13 豊田	豊原町	トヨハラ	21 富士見
	城所	14 城島	中里	ナカサト	21 富士見
	久領堤	20 港	中堂	ナカドウ	23 松原
	黒部丘1~9	19 花水	中原1~2丁目	ナカハラ	6 中原
	黒部丘10~30	18 までしこ	中原3丁目1~19	ナカハラ	8 松が丘
	公研	2 旭北	中原3丁目20~26	ナカハラ	6 中原
	河内1~2丁目	2 旭北	中原下宿(御臨階)	ナカハラノカド	12 金田
	小鍋島	14 城島	長瀬	ナカノセ	23 松原
	御殿1~4丁目	6 中原	長持	ナカモチ	12 金田
さ	幸町	20 港	撫子原	ナカノハラ	18 までしこ
	桜ヶ丘	21 富士見	虹ヶ浜1~12	ニジガハマ	19 花水
	真田	16 金目	虹ヶ浜13~24	ニジガハマ	18 までしこ
	真田1~4丁目	16 金目	錦町	ニシキヨ	22 崇善
	四之宮1~7丁目	3 四之宮	西真土1~4丁目	ニシマツ	5 真土
	下吉沢	17 土沢	西八幡1~4丁目	ニシヤタ	4 八幡
	下島	14 城島	根坂間	ネサカマ	2 旭北
	新町	8 松が丘			
	須賀	23 松原			
	董平	19 花水			
	諏訪町	21 富士見			
	浅間町	22 崇善			
	千石河岸	20 港			
	千須谷	16 金目			
	袖ヶ浜	19 花水			

次のページに続く

町名	町名(カナ)	地区
は	花水台	18 までしこ
	馬入	23 松原
	馬入木町	23 松原
	東真土1~4丁目	5 真土
	東豊田	13 豊田
	東中原1~2丁目	8 松が丘
	東八幡1~5丁目	4 八幡
	日向岡1~2丁目	2 旭北
	平塚1~5丁目	21 富士見
	広川	16 金目
	富士見町	21 富士見
	ふじみ野1~2丁目	15 岡崎
	礼陽町	20 港
	紅谷町	22 崇善
	松風町	19 花水
	瀬1~4丁目	2 旭北
	方田1~3丁目	1 旭南
	見附町	22 崇善
	南金目	16 金目
	南豊田	13 豊田
	南原1~4丁目	7 南原
	宮の前	22 崇善
	宮松町	22 崇善
	めづみヶ丘1~2丁目	17 土沢
	桃浜町	19 花水
	八重咲町	19 花水
	八千代町	23 松原
	山下1~3丁目	1 旭南
	八幡	4 八幡
	夕陽ヶ丘	20 港
	横内	10 横内
	吉原	11 大畑
	龍城ヶ丘	19 花水